

「阿久津曲がりねぎ」は植え替えにより品質が向上する

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - ネギ - 品種、生理・生態、移植、品質・食味
分類コード 03-37-01040727

2 担当者

緑川弥寿彦・佐藤睦人

3 要旨

郡山の伝統野菜「阿久津ねぎ」は盛夏期に斜めに植え替える「やとい」作業が行われる。こうしてできた「曲がりねぎ」は、通常の直立ねぎより柔らかく食味がよいといわれている。そこで、本試験では、「やとい」を、植え替えと斜め植えに分解して品質がどう変わるかを解析し、「やとい」作業の効果を検証した。その結果、「阿久津ねぎ」は植え替えによって柔らかくなり、糖含量がたかまることがわかった。斜め植えによって曲げることでは影響がなかった。

- (1) 盛夏期の植え替えによって収穫時の葉鞘は柔らかくなる。斜め植えによる影響はみられない。
- (2) 収穫時の糖含量は植え替えによって増加する。増加する糖はフルクトースとグルコースである。斜め植えによる影響はみられない。
- (3) 糖度は植え替えや斜め植えによる影響がない。

4 その他の資料等

- (1) 特になし